

令和8年度第1回朝来市子ども・子育て会議 グループ対話内容記録

グループA

■朝来市でこどもの幸せの循環を考えるために大事にしたいこと

大事にしたいこと	内容	他グループからのコメント	課題 No（参考）
こどもが権利の主体であること	・ 年齢が上がるほどこどもの権利を知らない。 ・ 親権の主張ではなくこども自身に権利があることを親が学ぶ事が大事。親がこどもの権利を深く知らないと何も変わらない。 ・ 実際に「こどもの権利」について学んでいないという人も多い。	・ 「こどもの権利」大事だと思います。 ・ こどもの権利について知る。 ・ イイネ！	【1】こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
こどもが自分の意見を大事にされていると感じること	・ 意思表示できることの大切さを伝える。 ・ こどもの意見を聴くことがスタンダードに。 ・ こどもが意見を言える場づくり。 ・ 意見表明で終わらない、こどもが意見を大事にしてもらっていると実感できること。（大事にされない経験を積み重ねると言っても無駄となり表明しなくなる） ・ 意見が政策につながる。	・ 意見を言えるためのスキルも必要！ ・ 大人がどう対応するかが大事。 ・ 受けとめることが大事。 ・ イイネ！	【1】こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
こどもがやりたいことができること	・ こども・若者の「やりたい」をみんなで応援。 ・ 地域の寛容性。 ・ 生きがいを持つことが大切。	・ 「やりたい」を否定しない。	【1】こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
社会全体でこどもを見守ること・つながりを持つこと	・ 中学卒業以降のこどもの状況を引き継げない。 ・ 早い段階でアプローチすることが重要。 ・ 地域内ネットワークをいかした支援。 ・ 地域での声掛けがコミュニティや場への参加のきっかけになり、やがて前向きに。 ・ 地域で見守るなかで、自ら SOS を発することが難しい人を早期発見し、民生委員さんに共有し、何かあれば支援機関へつなげる。	・ 大人もこどもも SOS を言えない。 ・ 地域内のネットワークは大事。 ・ 共感できました。 ・ いいね！こんなのあればサイコー。	【2】～【4】切れ目のないこども・若者支援、【5】配慮を必要とするこども・若者の支援

	・ 親には見せないこどもの本心・悩みなどは、こどもとの信頼関係を構築してから相談してもらえる関係になる。 ・ 負の連鎖を断ち切りたい。 ・ 目に見えないけど経済的に困っている人がたくさんいる。 ・ 進学に向けて（受験費用など）支援。 ・ 親・大人も SOS が言えること ・ 受援力。 ・ SOS を言っていていいということを小さなころから学ぶ。 ・ つながっているようで困り事を相談できないなど、見えない孤立に陥ってしまう。 ・ 子育てしながら働くことは難しい、地域で子育てする。 ・ 子育て世代の横のつながり。 ・ 日常的につながることが重要。		
こどもが自己肯定感を育めること	・ アンケートで高校生の数値が低いのは空気を読むようになるから。 ・ 空気を読まなくても安心して発言できるには、自己肯定感が高いことが土台にある。 ・ こどもから大人までナナメの関係性づくり（居場所・学び・刺激・体験）。 ・ ただの居場所でなく、自己肯定感を育むことができるような場が必要。 ・ 19～39 歳の方の職場以外での関わりしろが少ない。	・ 自己肯定感は大事！（2）	【6】こども・若者の居場所・体験活動

グループB

■朝来市でこどもの幸せの循環を考えるために大事にしたいこと

大事にしたいこと	内容	他グループからのコメント	課題 No (参考)
こども若者が集まれる場所があり、誰もが自分の居場所がある	・ 悩みや相談を気軽に話せる場 ・ 気軽に行けて、こども同志（こどもたちが集まれる）で会話できる場所、遊び場が少ない。 ・ 話を聞いてもらえる、自分の意見が言える場所が大事。 ・ 昔はお好み焼き屋など通学路で集まれる場所がいくつかあったが今はない。 ・ イオンなどで高校生などが集まっていると大人たちが悪いことをしているのではないかと感じてしまう。 ・ 大人も安心して行かせられ、こどもが集まれる場所が増えるといい（豊岡アイティなど）。 ・ 大人が思う居場所とこどもが思う居場所は違う。	・ 大事（2） ・ 居場所が誰にもあること。 ・ 居場所をとおしてつながり・SOS が言えること。 ・ 気軽に行けることって大事。 ・ 行きたいと思える居場所をどう作るか?! ・ 集える場所は大切。	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画 【6】 こども・若者の居場所・体験活動
人とのつながり	・ こどもの頃から人とつながることが大事。 ・ こども同志も大人ともつながる。 ・ 高齢者も居場所ですつながりができる。 ・ 孤独が良くない。	・ 孤独になると誰にも必要とされていない感がつのる、不幸福感	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
地域とのつながり（地域が家族）	・ 地域が家族のように、こどもたちを見守り、育てられる（よその子でもしかれる等） ・ 年齢が大きくなり子供会から離れると、誰か分からなくなる状況は良くない。	・ 大事（2） ・ みんなで支え合える関係性が大事！	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
誰でも認めてもらえる、活躍できる	・ 認めてもらえると自己肯定感が高まる。 ・ どんなこどもも認めてもらえるという環境づくりが大事。	・ リ・チャレンジできるまち。 ・ さまざまな人たち（こども若者）のチャレンジを応援！ ・ 課題を与えることで達成感が生まれる	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画

誰もが幸福で我慢なく ていいまち	・ みんなが幸せであることを頭のキーワードにしたい。 ・ 貧困や居場所がない子どもたちがいることが課題。 ・ 引きこもりやジェンダーの問題など、切れ目なく助けられるようにしたい。 ・ 一人では難しくても協力できれば良くしていける。		【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画 【5】 配慮を必要とする子ども・若者の支援
体験や経験を通して成長 できる	・ 心身ともに色んな意味での成長ができることが大事。 ・ 自分たちで居場所を運営するなども良い経験になる。		【6】 子ども・若者の居場所・体験活動

■こども施策のアイデア、改善点

キーワード	内容	他グループからのコメント
居場所の在り方	・ イオンに高校生がたむろしていると怒られる（大人が良い状況だと思わない）。 ・ イオンの空きスペースを活用して高校生などの居場所にする。 ・ こどもが自分たちで運営するのも経験につながっていい。	・ イオンも集まって OK な場 ・ イオンあり／イオンいいね！ ・ 面白い！ ・ 運営イイネ！

グループC

■朝来市でこどもの幸せの循環を考えるために大事にしたいこと

大事にしたいこと	内容	他グループからのコメント	課題 No (参考)
自分の気持ちを素直に言葉にできる	・ 言葉表現する方法を知らない。 ・ でもね、だって…(こともたちが対立を避ける傾向がある) ・ 人にやさしくされると自分もやさしくなれる (循環)	・ どんな言葉がうれしい!? ・ イイネ (2) ・ 大切 ・ 肯定してもらえる、言葉で表現することは大事! ・ 自分の意見を言ってもよいって大事です。	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
個性を大事にする (大事にしてもらえる環境がある)	・ 長所を伸ばす。 ・ 比べない (〇〇さんは〇〇な状況、でもやっと思ったで…は傷つく)。		【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画
やりたいことができる、認めてもらえる、共感してもらえる	・ 学びたいことが学べる。 ・ やりたい事が実現できる。 ・ 好きなことを好きなときにできる。 ・ 自分の気持ち気を使わずに言える。 ・ 自分の趣味があって、取り組める。 ・ やりたい事、思いが素直に言葉にできる。 ・ ほめられる。ほめる。 ・ 共感してもらえる。 ・ 認めてもらえる。 ・ 大人に愛されている実感。	・ やりたいこと、応援してもらえる雰囲気が心強い ・ ほめられるとうれしい! ・ 私の子育て論「ほめて育てる」→自己肯定感アゲアゲ	【1】 こどもの権利、こどもの意見反映、社会参画 【6】 こども・若者の居場所・体験活動
安全、安心に過ごせる場所、環境がある	・ まち全体が、地域が安全な場所である。 ・ 家庭が安心できる場所である。 ・ 安全、安心。 ・ 安心できる場所。	・ いやされる場所であってほしい	【2】～【4】 切れ目のないこども・子育て支援

	・ 両親、家族が喧嘩しすぎない、喧嘩するところを見せない。 （幼い頃にそういう場面をみるのが嫌だった） ・ 今の親は意識して喧嘩する場面を見せないようにしていると思う。 ・ 一番のベースめに安全、安心な環境があると思う。		
みんなで一緒に学んだり、体験する機会、つながりがある	・ 一緒に学ぶ機会。 ・ 同じ体験を通して得られる一体感。 ・ みんなで集う機会。 ・ 集合して選べる場所。 ・ 友達とのつながりがある（孤独でない）。 ・ 地域のおもしろい人とのつながり。 ・ 物理的にあつまれる場所（対面で集まる機会が少ない）。	・ Good ・ ソウダネ！！ ・ 行けば誰かに出会える	【6】 こども・若者の居場所・体験活動